

町田市ベスト4

あっぱれ

第15号

編集・発行
顧問 中村 悠太

止まらない 止められない

もう誰にも止められない。初戦突破の勢いそのままに、二回戦でコールド勝ちをすることができました。携帯を握りしめ廣瀬先生からの報告を待ちました。「先制点です」「追加点です」「三回入ります」「四対零です」着信通知…出られず折り返す…。「やりました、勝ちました。五回コールドです」式場の休憩ルームで叫びました。本当に良かったです。先発が最後まで投げました。速球も良かったです。○

○がまた打ちました。○が満塁で走者一掃を打ちました。○がレフトオーバーです。興奮気味の電話の内容でした。短期決戦で追う側、追われる側の両方を経験したことは非常に大きなことです。しかも負けたら終わりのトーナメント戦でしっかり勝ち切ることでできた。ここまででは技術、これからは本当に強い気持ちとチーム力が上のチームが勝ちます。試合に出ている、出ていないに関わらずそれぞれが自分の役割を果たすこと



ができれば必ず勝利は見えてくる。町田市のベスト4となりました。次は準決勝です。負けていったチームに恥じぬよう相手がどこであろうと全力でぶつかり必ず勝とう。辛かった夏、その中で必死にもがき、がむしゃらにバットを振り、全員で意識が朦朧としながら守備をしたことを思い出せ。君たちなら必ずできる。

野球の神様・勝利の女神・グラウンドの魔物

野球の世界ではまだ解明されていない謎や都市伝説が数多くあります。外野フライが突然の突風によってホームランになったり、守備で良いプレーをした選手が次の打席でヒットを打ったり、グラウンドに唾を吐いた選手に飛んできたゴロがイレギュラーバウンドになったり、選手交代したところに必ずボールが飛んだり、捕るのが怖くてボールを避けて捕球しようとしたら顔に飛んできたり、一生懸命声を出して応援したら勝てるはずのないチームに勝ったりと挙げたら切りがないほど不思議なことが起こります。

何を伝えたいか、勝つ資格のあるチームになろう。グラウンド整備を一生懸命やろう、全力疾走、全力プレーを心がけよう、苛ついても道具や物、グラウンドに当たるのはやめよう、グラブとスパイクを磨き、道具を大切にしよう。感謝の気持ちをもって野球をしよう。

グラブ・スパイクの手入れ方法

汚れや土をブラシ等で落とす→クリーナーを塗布し布で拭く→保湿（皮）クリームを塗り、形を整え乾燥させる。使用したらその都度やろう。

一心同体
全員野球